

文学座 公演

# 殿様と私

出演 加藤 武 他



**日時** 11月21日(月)  
午後6時30分

**場所** 阿南市市民会館

**料金** 一般 4,500円 (当日 5,000円)  
小中高生 1,900円

※阿南での最後の公演となります。  
※会員以外の方も観劇できます。  
お見逃しなく!!

**【前売券取扱所ほかお問い合わせ先】**

阿南市民劇場 TEL 0884-23-4304  
(火~土 13時~18時)

1日	火	心配ごと相談 (9:00~12:00) 日和佐老人福祉センター
		人権相談 (9:00~12:00) 日和佐公民館
6日	火	人権相談 (13:00~15:00) 由岐老人福祉センター
		心配ごと相談 (13:00~15:00) 地域交流支援センター
8日	木	心配ごと相談 (9:00~12:00) 日和佐老人福祉センター
		行政相談 (9:00~12:00) 日和佐老人福祉センター
13日	火	心配ごと相談 (13:00~15:00) 地域交流支援センター
14日	水	行政相談 (13:00~15:00) 由岐公民館
15日	木	心配ごと相談 (9:00~12:00) 日和佐老人福祉センター
20日	火	心配ごと相談 (13:00~15:00) 地域交流支援センター
22日	木	心配ごと相談 (9:00~12:00) 日和佐老人福祉センター
27日	火	心配ごと相談 (13:00~15:00) 地域交流支援センター

## 町民文芸

### 由岐句会

独り言多くなりけり夜の秋  
つつがなく暮し一ト日や酸橋の香  
島島猿に对処の鳥威し

松内 きぬ  
戎谷 久代  
戎谷 利公

検診車へ無口にならぶ一葉忌  
水音に沿いし小径や草の花  
心中の權を漕ぐべし月天心  
枯蟪螂腹パンパンに動かざる  
草刈機土手に残して神無月  
川風の荒ぶく土手の花芒  
潮垂るる御輿に射しぬ秋入日

下町 昭  
森 浄子  
中川 秀司  
住谷 喜舟  
米山 玉子  
由岐 亮子  
森本富美子

### 木岐句会

島渡る指揮とるもののあるごとく  
敬老日齢かさねて生きるのみ  
拗ねし子の八つ当たりせし曼珠沙華  
歩み来し跡ひとすじに秋汀  
野分去り消毒臭う浦の路地

三谷 静江  
中崎小夜子  
森 延子  
志尾多磨子  
名田みや女

### 日和佐短歌会

女の孫はお尻キユートにくねらせて頭上高くにポンポン揺らす  
民のため命ささげし要左衛門語り継がれし碑に佇みて  
明月と十五の月の重なりて光さやく窓にさし来る  
温度差に悩まされいる老いの身は今日の一日の和やかなれと  
黄昏のそぞろ歩き道の辺に風に流れて秋刀魚の匂い  
干しあげてのべし布団に先に来て猫が寝ておりそぞろ寒き夜  
秋祭り太鼓の音を聞くにつけ幼きころのよみがえり来る

福井 郁子  
栗林 和子  
山本 光  
鈴木テル工  
小延 恭弘  
本庄たゑ子  
豊崎マツ工

### 投稿(短歌)

山越えの畑と呼びて耕せし父母も甘藷もわが胸の中  
待ちわびる秋の爽風いざ吹けば淋しき風よ夏の恋しき

下町 昭  
船越 儀雄

### 日和佐句会

花嫁の写真の届く菊日和  
野分去り種蒔く人の忙しく  
秋とつと地風みちずれ峡渡る  
朝毎に辿る小道や草の花  
さくさくと木彫の音や虫の声  
野地蔵と背比べする曼珠沙華  
父母を偲ぶ旅路の彼岸花  
我が家にも可愛い満月転がりて  
十三夜星降る空に夢のせて  
秋御輿お入り間近の星明り

海部夫志子  
浜名 文子  
湊 とおる  
勝瑞 高春  
坂井 清  
湊 のぶ恵  
青山 幸子  
濱名 優佳  
寺下岩次郎  
青山 文夫

### 投稿(俳句)

廃屋の庭に咲きたる鶏頭花  
葦の花潮満ちて水平らかに  
借畑に朝風さやと大根蒔く  
ぬたあえの鱒数匹指で割く  
コンサート余韻に浸る秋の風  
野分吹く遠白波の脱免めく  
朝日浴び高く突きだす僅かな

田川 幸枝  
本庄 潮乃  
中川 美鈴  
白河 輝女  
福井 咲希  
岡本 真砂



町民文芸のコーナーに掲載を希望される場合は、総務企画課(☎77-3611)まで連絡をお願いします。原稿は前月25日までに提出してください。